

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	柿原 聖治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

「総合演習 I」で体験した関心と、ゼミでの人間関係構築の成果として、学園祭に向けて企画をする。学園祭は学生自身のアイデアで行い、学習成果の発表、出店など多様な発表の場と考える。企画力はこれから必要な能力のひとつである。何をするのか、それに必要な物品は何か、費用はどのくらいかかるかなど、あらゆる条件をクリアしていくことを体験学習として位置づける。自身の頭と身体を積極的に使ってアクティブな学習を展開する。地域を学びのフィールドとし、課題解決型学習にする。なお、オンデマンド授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	ディスカッション、グループワークを取り入れ、課題解決型学習にする

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明	<input type="checkbox"/>
第2回	総合演習 I と II の関係について	専門演習の入門と位置づけ	<input type="checkbox"/>
第3回	PBLについて	PBL (Problem-Based Learning) の基礎	<input type="checkbox"/>
第4回	地域活動プロジェクト	地域活動プロジェクトの具体的内容	<input type="checkbox"/>
第5回	地域スポーツ イベント プロジェクト	地域スポーツ イベント プロジェクトの具体的内容	<input type="checkbox"/>
第6回	学内イベントプロジェクト	学内イベントプロジェクトの具体的内容	<input type="checkbox"/>
第7回	大学祭の企画	大学祭についての具体的内容	<input type="checkbox"/>
第8回	スポーツ大会の企画	スポーツ大会についての具体的内容	<input type="checkbox"/>
第9回	名東区民祭りの企画	名東区民祭りについての具体的内容	<input type="checkbox"/>
第10回	グループで行う活動 (課題発見)	課題を見つける	<input type="checkbox"/>
第11回	グループで行う活動 (計画)	課題解決のための計画	<input type="checkbox"/>
第12回	グループで行う活動 (収集)	資料を収集する	<input type="checkbox"/>
第13回	グループで行う活動 (発表準備)	グループ (A、B) ごとに、まとめる	<input type="checkbox"/>
第14回	Aグループの成果の発表・報告	Aグループの発表によって発表内容を深める	<input type="checkbox"/>
第15回	Bグループの成果の発表・報告	Bグループの発表によって発表内容を深める	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

それぞれ次回の課題を提示するので、学生はそれに取り組む (毎週2時間)。講義で行ったことを振り返らせ、レポートとしてまとめる (毎週2時間)。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

提出されたレポートに、コメントをつけて返す。

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
企画、発表の内容				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『論文・レポートの基本』、石黒 圭	4534049277
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		